



FY2024 決算説明会

2025年5月13日
パーソルホールディングス

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パーソルホールディングス株式会社

2025年5月13日（火）16:30-17:15 開催

FY2024 決算説明会 書き起こし

ハイライト



1

FY2024 決算概要

- 売上収益は1兆4,512億円（前期比+9.4%）、調整後EBITDAは783億円（同+8.4%）、営業利益は574億円（同+10.3%）、当期利益^{*1}は358億円（同+19.7%）
- 調整後EBITDA・営業利益・当期利益^{*1}のいずれも過去最高を更新

2

FY2025 業績見通し

- 売上収益は1兆5,400億円（前期比+6.1%）、調整後EBITDAは865億円（同+10.4%）、営業利益660億円（同+14.9%）、当期利益^{*1}は410億円（同+14.3%）
- 事業の着実な成長および収益性改善により、最高益更新の見通し

3

財務戦略（株主還元・キャッシュアロケーション）

- FY2024期末配当は、好調な業績を背景に期初予想から0.5円増配の5.0円（年間配当9.5円）
- FY2025年間配当予想は、過去最高額の11.0円（前年対比+1.5円）
- FY2025のROEは約20%、ROICは約18%と最高値更新の見通し

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益 *2 FY2024は2025年3月期、FY2025は2026年3月期（以下同じ） *3 FY2023よりIFRSを適用
*4 本資料における各SBU前期業績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーマ後の数値

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2

【代表取締役社長 CEO 和田】

パーソルホールディングス代表取締役社長 CEO の和田です。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

今日私から皆様にお伝えしたいことは、FY2024 の決算概要、それから FY2025 の業績見通し、そして財務戦略の3点でございます。

なお、本日で説明させていただきます FY2025 の業績見通しでございますが、昨今のトランプ関税や、それに伴う大幅な為替の変動等の影響に関しましては読み込んでおりません。今後、万が一大きな変更の必要性があった場合には改めてお伝えさせていただきます。

それではまず初めに、FY2024 の決算概要でございます。売上収益は1兆4,512億円で、前年比9.4%の増でございます。それから調整後EBITDAは783億円で、同8.4%の増となっております。調整後EBITDA、営業利益、当期利益のいずれも過去最高を更新いたしました。

FY2025 の業績見通しでございます。売上収益は1兆5,400億円、前年比6.1%の増を見込んでおります。調整後EBITDAは865億円、同10.4%と、二桁の成長を目指してまいります。

それから財務戦略でございます。FY2024 の期末配当は、期初予想より0.5円の増配を行いまして、年間配当を9.5円とします。それから、FY2025 の年間の配当予想でございますが、過去最高の11円（前年比1.5円）の増配を計画しております。FY2025 のROEは約20%、ROICは約18%と、最高値の更新を見通しております。

それでは、FY2024 決算概要の詳細につきましては、CFO の徳永からご説明させていただきます。徳永さんお願いします。

FY2024 決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】

CFO の徳永でございます。

それでは私から全社の決算概要、その後、SBU の決算概要について説明をさせていただきます。

FY2024 決算概要（連結）

売上収益・各段階利益は過去最高を更新



(Million yen)	FY2023 実績	FY2024 実績	YoY	修正業績予想 (2024年11月発表)
売上収益	1,327,123	1,451,238	+9.4%	1,455,000
売上総利益	301,161	332,128	+10.3%	-
営業利益	52,065	57,426	+10.3%	56,000
営業利益率	3.9%	4.0%	+0.0pt	3.8%
EBITDA	81,700	90,410	+10.7%	-
EBITDA Margin	6.2%	6.2%	+0.1pt	-
調整後EBITDA	72,287	78,340	+8.4%	76,000
調整後EBITDA Margin	5.4%	5.4%	△0.0pt	5.2%
当期利益 ^{*1*2}	29,971	35,871	+19.7%	36,500
調整後当期利益	38,839	41,440	+6.7%	42,200
EPS (Yen)	13.22	16.17	+22.3%	16.30
調整後EPS (Yen)	17.03	18.50	+8.6%	18.75

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 当期利益の業績予想との差は、主に税額控除による影響

*3 為替レート 【豪ドル】 FY2023：95.1円、FY2024：99.5円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

まず最初に、全社の決算概要でございます。

和田からも説明ございましたが、全体として堅調な決算でございました。

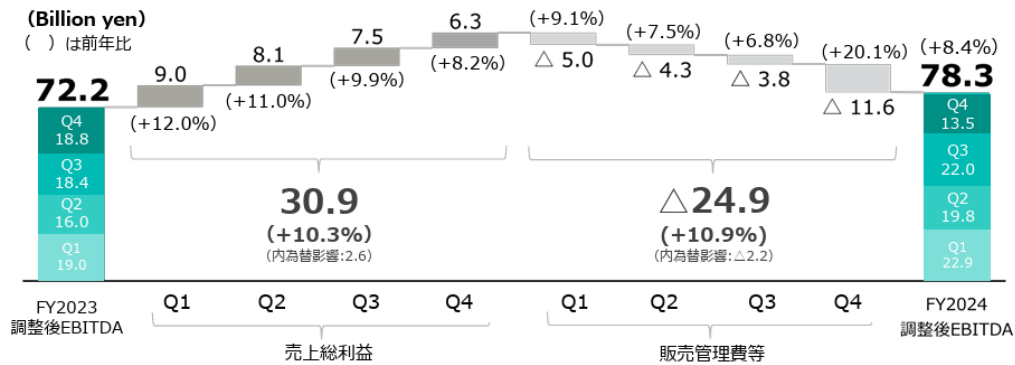
売上収益につきましては FY2023 対比で 9.4%増の 1 兆 4,500 億円強、そして営業利益につきましては前年対比 10.3%増の 574 億円でございました。また、私ども経営陣が最重要視しております調整後 EBITDA につきましても、前年対比 8.4%増の 783 億円でした。

また当期利益でございますが、こちらも前年対比 19.7%増の 358 億円でしたが、11 月の見通し対比では若干下回ってございます。下回った要因は注釈のところに記載しております。賃上げ促進税制で税額控除が受けられると予想しておりましたが、ほんの少し条件に合わず、その分税金が増えたのが主な要因でございます。

FY2024 調整後EBITDA増減分析（前期比）



売上総利益は毎四半期安定的に成長
通期で10.3%成長し、調整後EBITDA増益



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

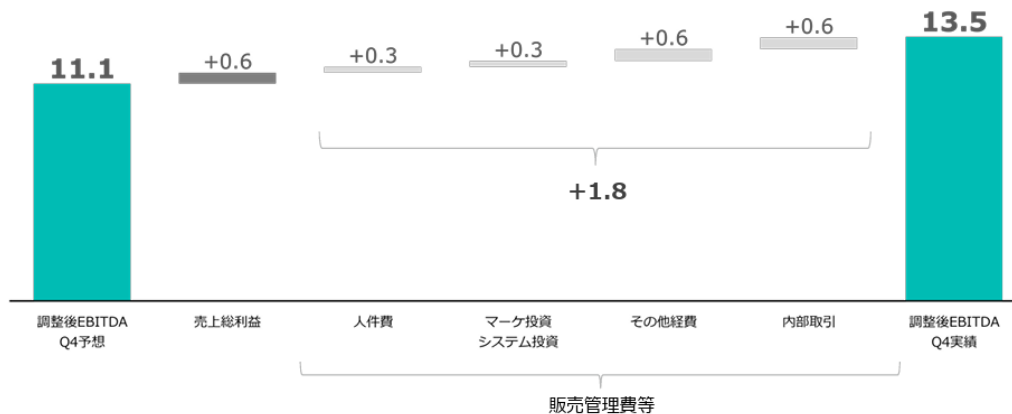
続きまして、調整後 EBITDA の FY2023 対比でございます。

FY2023 は 722 億円の調整後 EBITDA でした。売上総利益は前年対比で 10.3%、309 億円増やすことができました。一方で販管費につきましては、249 億円の増でございました。2 月の決算発表で説明いたしました、Q4 の販管費は 116 億円と、通常に対して約 60 億円程度マーケティング投資やシステム開発費を積み増しました。結果として FY2024 の調整後 EBITDA は 783 億円でございました。

FY2024 Q4 調整後EBITDA増減分析（予想比）



(Billion yen)



* 各項目にかかるグループ内取引は相殺し、グラフ内の「内部取引」として記載

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

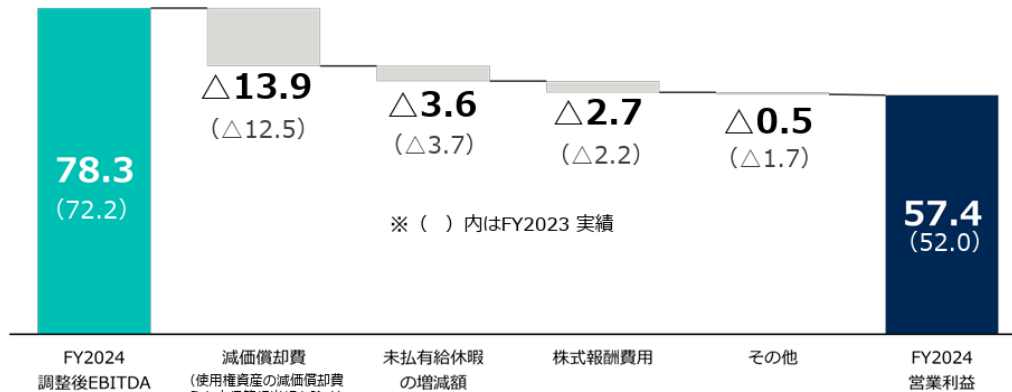
続きまして、調整後 EBITDA の Q4 の見通し 111 億円から、結果として 135 億円になった差異の分析でございます。

まず売上総利益が見通し対比で 6 億円上振れました。また販管費につきましては、大きく差異が出たものはなかったのですが、人件費やマーケティング投資など少しずつコストを圧縮した結果、約 18 億円のコスト削減によって、結果として 135 億円を達成してございます。

FY2024 調整後EBITDAと営業利益



(Billion yen)



※ () 内はFY2023 実績

* 調整後EBITDA = 営業利益 + 原価償却費 (使用権資産の原価償却費のうち家賃等相当額を除く) + (-) 未払有給休暇の繰戻 (繰上) + 株式報酬費用 - (+) その他の収益 (費用) - (+) その他通常のでない収益 (損失)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

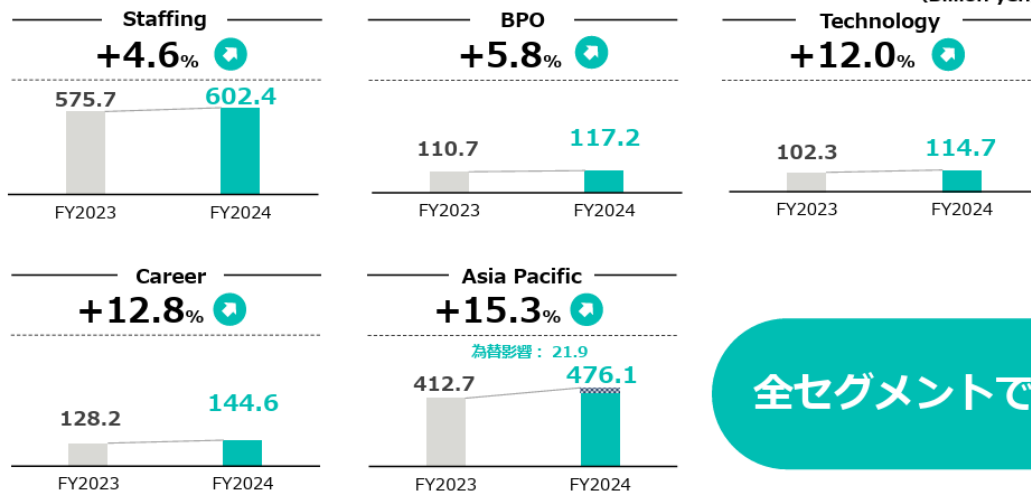
7

続きまして、調整後 EBITDA と営業利益の推移でございますが、減価償却費が FY2023 の 125 億円に対して、FY2024 は 139 億円でしたが、その他未払有給休暇や株式報酬費用については大きな差はございませんでした。

FY2024 SBU別売上収益



(Billion yen)



為替影響: 21.9

全セグメントで増収

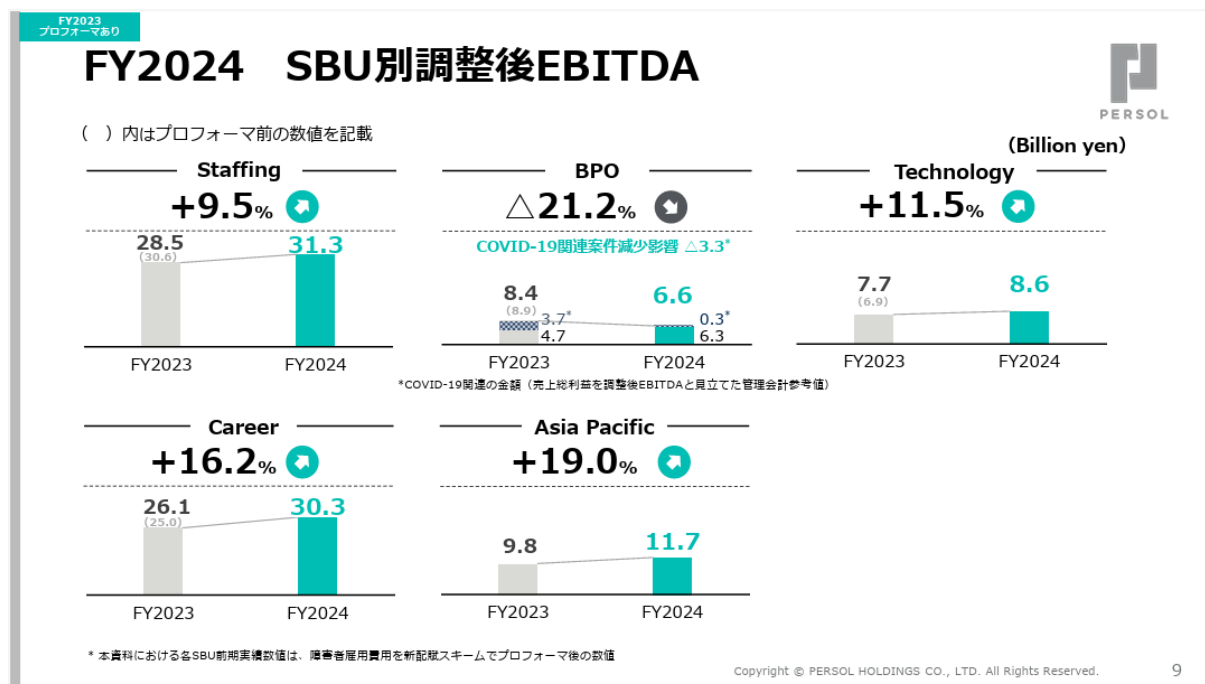
* SBU : Strategic Business Unitの略 (以下同じ)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

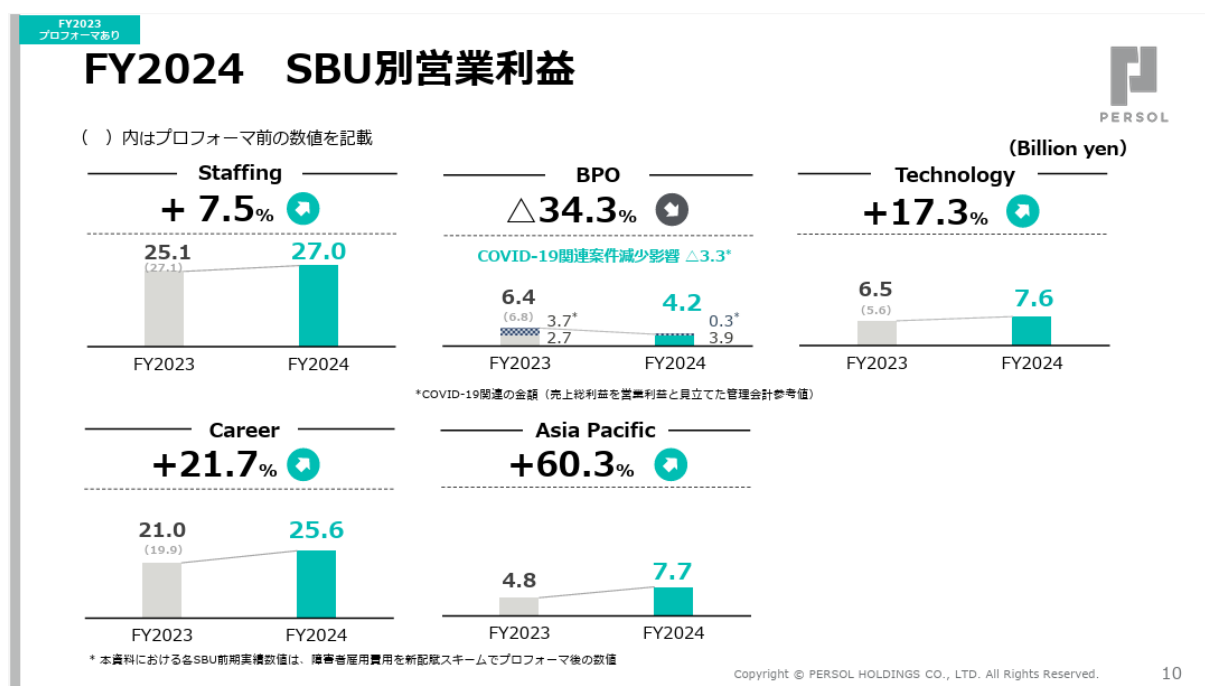
続きまして、SBU 別の売上収益の状況でございます。

全セグメントで増収を達成しています。特に、Technology SBU、Career SBU につきましては 10%を超える大きな増収を達成しました。Asia Pacific SBU につきましても、為替の影響が約 5%ございますが、現地通貨でも約 10%の増収を達成しています。



続きまして、SBU 別の調整後 EBITDA の前年対比でございます。

BPO SBU につきましては、COVID-19 の剥落があり、マイナス 21.2%ですが、その他の SBU につきましては、それぞれ増益を達成してございます。具体的には Staffing SBU につきましては 9.5%、そして Technology SBU、Career SBU、Asia Pacific SBU につきましては、10%を超える増益を達成してございます。



SBU 別の営業利益につきましては、調整後 EBITDA と同じ状況でございますので説明は省略させていただきます。後ほどご覧いただきたいと思います。

FY2024 連結財政状態計算書



(Million yen)	FY2023 期末	FY2024 期末	増減額		FY2023 期末	FY2024 期末	増減額
流動資産	312,690	299,974	△12,716	流動負債	257,416	266,159	+8,743
(主な内訳)				(主な内訳)			
現金及び現金同等物	108,369	82,818	△25,551	営業債務等*2	95,270	99,508	+4,238
営業債権等*1	169,008	179,794	+10,785	社債及び借入金	14,144	10,300	△3,844
非流動資産	206,040	239,771	+33,731	未払有給休暇	50,859	55,721	+4,862
(主な内訳)				非流動負債	52,996	67,203	+14,206
使用権資産	35,973	49,078	+13,105	(主な内訳)			
のれん	59,019	70,065	+11,046	社債及び借入金	20,000	20,000	-
無形資産	39,655	48,544	+8,889	負債合計	310,412	333,363	+22,950
資産合計	518,730	539,746	+21,015	資本合計	208,317	206,382	△1,935
				親会社持分*3	192,349	189,633	△2,716
				負債・資本合計	518,730	539,746	+21,015

*1 営業債権及びその他の債権 *2 営業債務及びその他の債務 *3 親会社の所有者に帰属する持分合計

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

通期決算ですので、バランスシート、それからキャッシュ・フローについて説明をいたします。

まず大きな変化点として、現預金が約 250 億円減少してございますが、これはこの後説明いたします富士通様の子会社の買収によるもの、そしてワーキングキャピタルの 50 億円程度の増、借入の 40 億円程度の減が要因でございます。また、資本につきましては、自己株式の買い取りを行いましたので、その分自己資金が減少してございます。

のれん残高

BPO SBUはパーソルコミュニケーションサービス^{*1}買収により増額
Asia Pacific SBUは為替^{*2}および一部事業売却により変動

(Million yen)

SBU	FY2023 期末	FY2024 期末
Staffing	8,177	9,207
BPO	6,362	18,676 ^{*3}
Technology	1,988	1,988
Career	16,712	16,712
Asia Pacific	24,080	21,782
PERSOLKELLY	2,443	2,462
Programmed Staffing	6,305	5,961
Programmed Property Services	1,484	1,402
Programmed Facility Management	12,651	11,956
Programmed Others	1,195	0 ^{*4}
上記SBU以外	1,698	1,698
Total	59,019	70,065

^{*1} 旧:富士通コミュニケーションサービス ^{*2} 為替レート (期末) 【豪ドル】 FY2023: 98.7円、FY2024: 93.3円
^{*3} のれんの他、パーソルコミュニケーションサービス買収に伴って無形資産を56億円追加で識別し、16年で償却 (金額および年数は暫定)
^{*4} 一部事業の売却による変動

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

続きまして、のれんの状況でございます。

先ほど説明した富士通様の子会社の買収に伴いまして、BPO SBU で約 120 億円のれんが増加してございます。また、のれん以外に、下の方に注書きで記載してございますが、無形固定資産、これは顧客資産でございますが 56 億円認識しております。なお、こちらにつきましては 16 年間で償却をする予定でございます。

FY2024 連結キャッシュ・フロー計算書



(Million yen)	FY2023 実績	FY2024 実績	増減額
営業キャッシュ・フロー	77,753	68,854	△8,899
(主な内訳)			
税引前利益	48,926	57,156	+8,230
減価償却費及び償却費*1	29,634	32,984	+3,349
未払消費税の増減額及びその他*2	14,222	△6,669	△20,892
投資キャッシュ・フロー	△19,000	△29,765	△10,764
(主な内訳)			
有形固定資産の取得	△3,279	△5,139	△1,859
無形資産の取得	△12,207	△13,284	△1,076
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得	△646	△17,839	△17,193
フリーキャッシュ・フロー	58,753	39,089	△19,664
財務キャッシュ・フロー	△53,803	△63,878	△10,075
(主な内訳)			
社債の発行償還及び借入の増減	△18,065	△4,825	+13,239
自己株式の取得	△0	△20,000	△19,999
配当金の支払額	△18,921	△19,809	△887
現金及び現金同等物の期末残高	108,369	82,818	△25,551

*1 消費税相当額 (FY2023は17,079百万円、FY2024は19,019百万円) を含む

*2 2024年3月31日が休日であった影響等

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

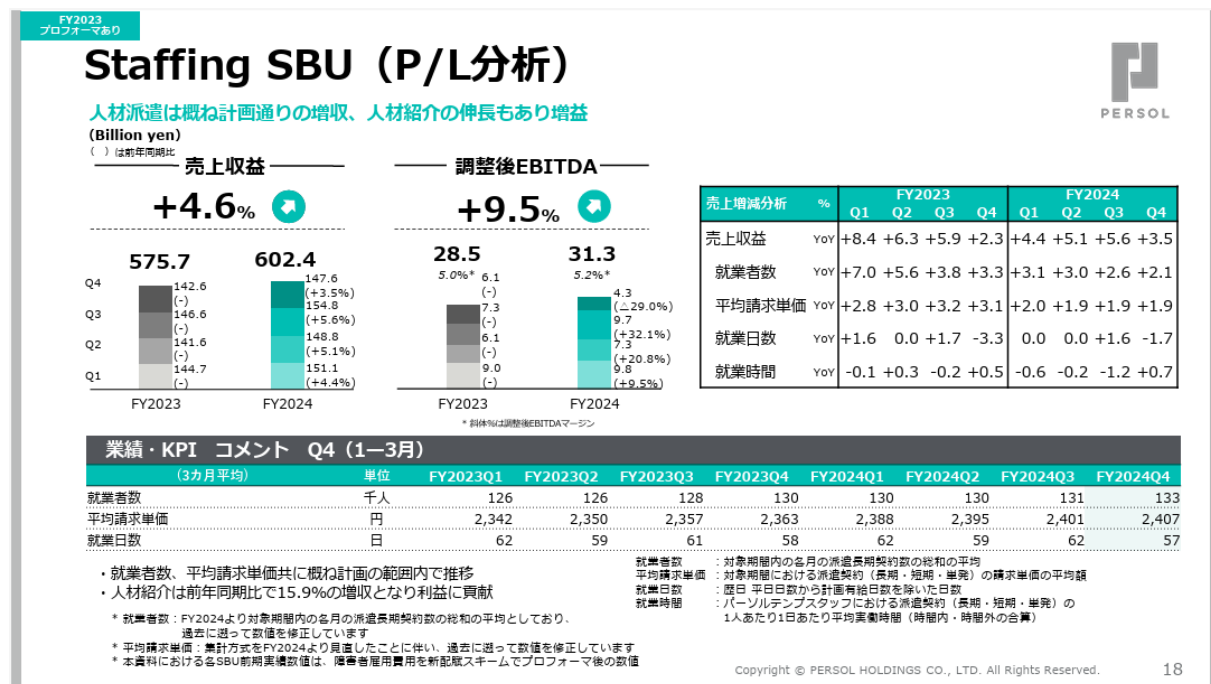
続きまして、キャッシュ・フローでございます。

前年対比で、FY2024 の営業キャッシュ・フローは約 90 億円の減少になってございますが、これにつきましては FY2023 の年度末、2024 年 3 月 31 日が休日であったためにその支払が FY2024 になったものでございます。事業としては営業キャッシュ・フローの状況は堅調でございます。また投資キャッシュ・フローでございますが、先程説明しました富士通様の子会社の買収に伴うもので、買収金額は 203 億円でございますが、当該会社が 30 億円強の現預金を持っておりましたので、投資キャッシュ・フローのマイナスとしては約 178 億円ということです。

FY2024 SBU別決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きまして、SBU 別の決算の概要について説明をいたします。



まず、当社の主力であります Staffing SBU でございます。

売上収益につきましては、FY2023 対比で 4.6%増でございました。また、調整後 EBITDA につきましては人材紹介が堅調だということもございまして、9.5%増の 313 億円でございました。Q4 の KPI でございますが、表の右の方を見ていただきたいのですが、就業者数につきましては 2%増、請求単価につきましても約 2%の増でございます。なお、前年対比で Q4、少し売上の伸びが低下してございますが、これは営業日数が FY2023 は 58 日だったことに対して、FY2024 の Q4 は 57 日だったことに起因するものです。

事業トピックス：Staffing SBU



Well-being

▶健康経営優良法人2025（大規模法人部門）4年連続認定

- 2025年3月、パーソルテンブスタッフは、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に4年連続で認定
- 「はたらいて、笑おう。」の実現に向け、“心身の健康”がすべての土台であり、原動力であると位置づけ、健康経営に取り組む



詳しくは[こちら](#)

多様なはたらき方

▶オウンドメディア『ハッケン・テンブ』コンテンツマーケティンググランプリ受賞

- 2025年3月、人材派遣会社による派遣社員のための“視点発見”メディア『ハッケン・テンブ』がContent Marketing Academyとオウンドメディア勉強会が主催する「コンテンツマーケティング・グランプリ2024」の「リクルートコンテンツ部門」にてグランプリを受賞



詳しくは[こちら](#)

「ハッケン・テンブ」は[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

19

Staffing SBU のトピックスを2点記載してございますが、後ほど是非ご覧いただけたらと思います。

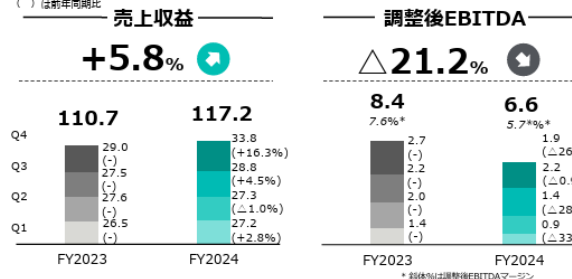
FY2023
プロフィールあり

BPO SBU (P/L分析)

売上収益はCOVID-19関連剥落分を補い増収、オーガニック*1では通期二桁成長

(Billion yen)

() は前年同期比



オーガニック業績推移	単位	FY2023				FY2024			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上収益	Billion yen	26.5	27.6	27.5	29.0	27.2	27.3	28.8	33.8
COVID-19関連		3.0	2.9	2.0	1.7	0.4	0.4	-	-
パーソルコミュニケーションサービス		-	-	-	-	-	-	-	4.0*2
オーガニック売上収益		23.4	24.6	25.4	27.3	26.7	26.8	28.8	29.7
オーガニック YoY	%	+15.1	+13.2	+10.0	+10.2	+14.2	+8.8	+13.1	+9.0
		累計 +12.0				累計 +11.2			

業績・KPI コメント Q4 (1-3月)

	単位	FY2023Q1	FY2023Q2	FY2023Q3	FY2023Q4	FY2024Q1	FY2024Q2	FY2024Q3	FY2024Q4	Q1 YoY	Q2 YoY	Q3 YoY	Q4 YoY
顧客数	社	1,658	1,724	1,804	1,931	2,018	2,173	1,663	1,849	+21.7%	+26.0%	-12.2%	-4.2%

・オーガニック売上収益は、前年同期比で+9.0%、顧客数は同△4.2%（10月の3社統合での名寄せによる影響）

・2025年2月に企業結合したパーソルコミュニケーションサービスの当期影響額（2～3月の2ヶ月分）は、売上収益は40.5億円、調整後EBITDAは4.1億円

*1 オーガニック：COVID-19関連案件および2025年2月に実施した企業結合におけるパーソルコミュニケーションサービス（旧 富士通コミュニケーションサービス）分の売上収益を除く

*2 パーソルコミュニケーションサービスの売上収益は、2025年2～3月の2ヶ月分

*3 本資料における各SBU前期業績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーマ後の数値

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

20

続きまして、BPO SBU でございます。

COVID-19 の剥落がございましたが、その COVID-19 の売上の剥落を補いまして、全体として増収を達成してございます。右の方に COVID-19 関連の売上と、先程ご説明した富士通様の子会社の買収に伴う影響を記載してございます。2月、3月の2か月分を連結に入れてございまして、売上につきましては40億円、また調整後 EBITDA については4.1億円のインパクトを今回の買収によって織り込んでいます。

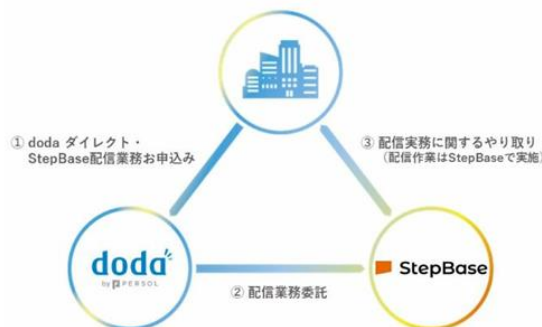
事業トピックス : BPO SBU × Career SBU



BPOサービス「StepBase」とCareerサービス「doda ダイレクト」がグループ連携

▶スカウト配信に関わる業務をワンストップで支援し、採用担当者の業務負荷15%削減を目指す

doda ダイレクトの利用も、スカウト配信代行活用も。
dodaにお申込みいただくだけのワンストップで実現。



- BPO SBUが提供する、バックオフィス業務を代行するオンラインBPOサービス「StepBase」と、Career SBUが運営する国内最大級のスカウトサービス「doda ダイレクト」が連携開始
- これまで「dodaダイレクト」のユーザー企業が対応していた求人票の作成やスカウトメールの配信などの業務を「StepBase」に委託することができ、**採用担当者の工数が大幅に削減され、効果的な採用活動をスピーディかつ手軽に行うことが可能に**

詳しくは[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

21

BPO SBU のトピックスでございます。

BPO SBU と Career SBU で、「StepBase」という BPO SBU のサービスと、「doda ダイレクト」という Career SBU のサービスのコラボレーションをしております。これは具体的には、「doda ダイレクト」のアウトソーシングを BPO SBU で受け、グループ全体としてお客様に提供するというサービスです。

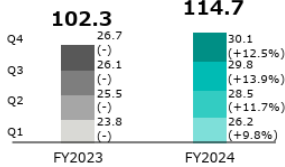
Technology SBU (P/L分析)

採用増と退職抑制によるエンジニア数の増加により、増収・増益
(Billion yen)

() は前年同期比

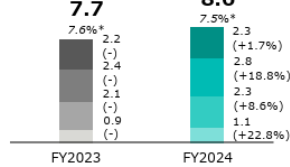
売上収益

+12.0%



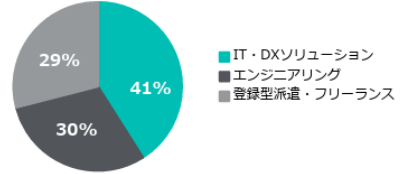
調整後EBITDA

+11.5%



売上構成比

FY2024



業績・KPI コメント Q4 (1-3月)

		単位	FY2023Q1	FY2023Q2	FY2023Q3	FY2023Q4	FY2024Q1	FY2024Q2	FY2024Q3	FY2024Q4	Q1 YoY	Q2 YoY	Q3 YoY	Q4 YoY
IT・DXソリューション	エンジニア数 (常勤人数)	人	2,620	2,740	2,690	2,930	3,140	3,320	3,390	3,460	+19.8%	+21.2%	+17.3%	+18.1%
	稼働率 (自社保員のみ)	%	83.8%	85.3%	89.1%	90.1%	82.0%	86.2%	87.8%	88.3%	-1.9pt	+0.9pt	-1.3pt	-1.8pt
	平均売上単価/月 (BPO含む)	千円	1,167	1,179	1,166	1,220	1,204	1,211	1,198	1,189	+3.1%	+2.6%	+2.7%	-2.6%
エンジニアリング	エンジニア数 (常勤人数)	人	3,210	3,260	3,310	3,310	3,440	3,580	3,620	3,610	+7.2%	+9.8%	+9.4%	+9.1%
	稼働率 (自社保員のみ)	%	89.9%	93.5%	94.1%	94.0%	87.4%	92.3%	94.0%	94.4%	-2.5pt	-1.1pt	-0.1pt	+0.4pt
	平均売上単価/月 (BPO含む)	千円	747	764	815	820	783	830	845	883	+4.8%	+8.7%	+3.7%	+7.8%
登録型派遣・フリーランス	登録型派遣エンジニア数(就業人数)	人	4,850	4,840	4,780	4,780	4,680	4,640	4,660	4,700	-3.5%	-4.1%	-2.5%	-1.7%
	派遣単価	円	3,851	3,871	3,897	3,936	3,986	4,016	4,023	4,063	+3.5%	+3.8%	+3.2%	+3.2%

IT・DXソリューション、エンジニアリングともに堅調に推移し、エンジニア数は順調に増加

* IT・DXソリューションのFY2024Q1のエンジニア数・稼働率について集計方法に誤りがあったため訂正いたしました

* 本資料におけるSBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーマ後の数値

続きまして、3つ目のSBU、Technology SBU でございます。

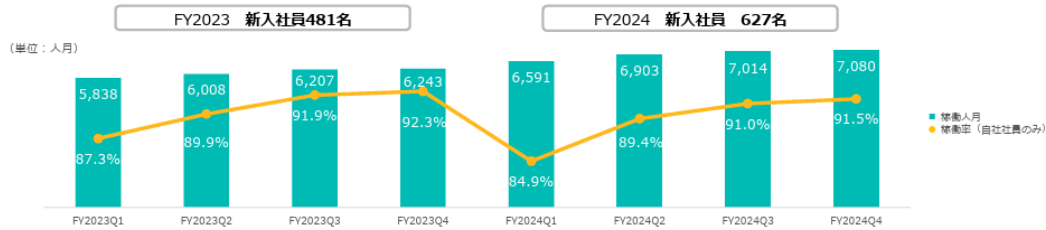
Technology SBU につきましては、売上収益が12%増、それから調整後 EBITDA につきましても11.5%増ということで、好調な状況でございます。KPI ですが、まずエンジニアの数につきましては IT 部門が18%の増、そして機械、電気のエンジニアリングも9%増ということで、エンジニアの数は好調に伸ばしております。また、請求単価は、IT 部門において Q4 は前年対比でマイナス2.6%になっておりますが、これはグループ内のシステム開発のプロジェクトが FY2025 にリスクになったことに伴う減でございますので、大きな事業上の懸念はございません。

稼働率と平均売上単価（IT・DXソリューション+エンジニアリング）

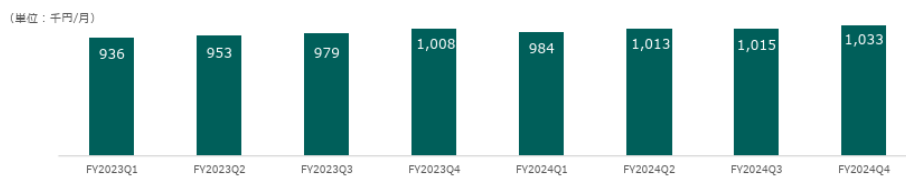
（※登録型派遣・フリーランスは除く）



稼働人月と稼働率の推移



平均売上単価の推移（稼働人月ベース）



*平均売上単価 = 売上 ÷ 稼働人月で算出

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

23

また、登録派遣とフリーランスを除いた正社員ベースの IT 部門、エンジニアリング部門の稼働人数と稼働率を記載してございます。

まず、稼働人数につきましては FY2023Q4 の 6,243 名に対して、FY2024Q4 は 7,080 名ということで堅調に伸ばしてございます。稼働率につきましては、FY2023Q4 は 92.3%に対し、FY2024Q4 は 91.5%ということで微減でございますが、派遣から請負にシフトしており、それに伴いまして、稼働率が若干落ちますが、一方で請求単価が伸びることで、全体として売上総利益を増やすという戦略をとっており、ほぼ計画どおりの数字でございます。

事業トピックス： Technology SBU



ソリューションビジネスの強化に向けた取り組み

～先端技術を単なる技術に留めず、簡単、便利で有効なソリューションとして提供し、企業の課題や社会のニーズに応える～

Azureコストの最適化のソリューションを提供

- 増加するクラウドコストの削減に向け、簡単かつ無料で Microsoft Azureコストの削減額を試算できるシミュレーターをリリース
- Microsoft製品に関するソリューション提供の中で培ったノウハウを基に、標準機能では確認できない削減ノウハウやツールなどを提供し、クラウドコストの最適化を支援することで、組織の生産性向上へ貢献



詳しくは [こちら](#)

日本初、レーザー・AI タイヤ総合測定システム

- 独自のレーザー技術で高精度にタイヤの溝を測定し、AI技術と画像処理技術でプロの整備士に代わり、タイヤの劣化を診断する日本初のハンディ型タイヤ溝計測器「AIみぞみるくん®」を開発
- 従来の検査工程をできる限り自動化し、ミスや負担軽減に貢献することで、安全性の向上に寄与



詳しくは [こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

24

Technology SBU のトピックスを 2 点紹介しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

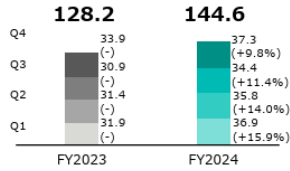
Career SBU (P/L分析)

生産性向上などにより増益。将来の成長に向け、下期よりマーケティング投資を強化

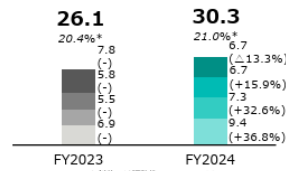
(Billion yen)

() は前年同期比

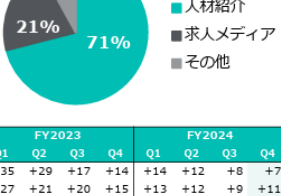
売上収益
+12.8%



調整後EBITDA
+16.2%



売上構成比



売上増減	%	FY2023				FY2024			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
人材紹介	YoY	+35	+29	+17	+14	+14	+12	+8	+7
求人メディア	YoY	+27	+21	+20	+15	+13	+12	+9	+11

業績・KPI コメント Q4 (1-3月)

	単位	FY2023Q1	FY2023Q2	FY2023Q3	FY2023Q4	FY2024Q1	FY2024Q2	FY2024Q3	FY2024Q4	Q1 YoY	Q2 YoY	Q3 YoY	Q4 YoY
人材紹介事業のHC	人	2,104	2,268	2,304	2,355	2,404	2,451	2,354	2,281	+14.2%	+8.1%	+2.2%	-3.1%
人材紹介事業の生産性	千円	3,190	2,725	2,574	2,732	3,167	2,783	2,654	3,035	-0.7%	+2.2%	+3.1%	+11.1%

- ・労働力不足を背景に企業の求人意欲は強い一方で、賃上げを背景とした転職希望者の慎重な傾向は変わらず
- ・HC：前年同期比△3.1%。育成・生産性とのバランスをみて、採用ペースはコントロール
- ・生産性：前年同期比+11.1%と改善

* 人材紹介事業のHCは、Career Advisors、Recruiting Advisors、Project Agents等の総数
* 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新記録システムでプロフォーマ後の数値

続きまして、Career SBU の状況でございます。

売上収益につきましては12.8%の増、そして調整後 EBITDA につきましては16%の増でございました。FY2024 の期初は市場環境が若干不透明なところもありましたが、見通しの範囲の中で増益を十分達成できたと考えてございます。

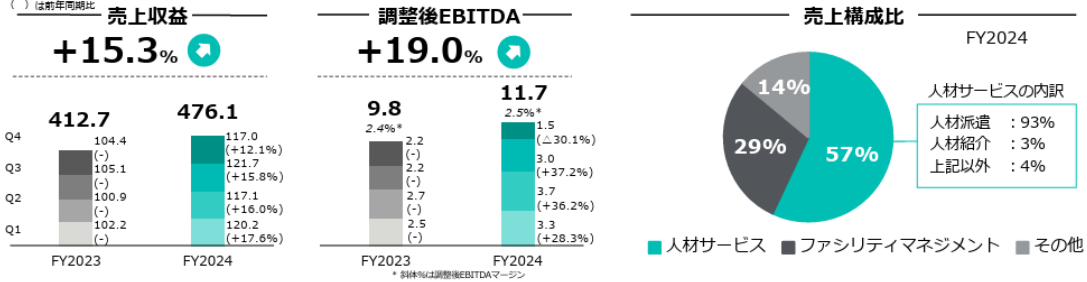
一方で、FY2024Q4 は、売上の成長率が約10%になっています。これにつきましては、企業様の求人意欲が強い一方で、個人が、賃上げ等もあり、若干慎重になっている結果ではないかと私どもは見えています。それを踏まえまして、真ん中の表に記載のとおり、コンサルタントの数についてはコントロールしながら、一方でコンサルタント1人あたりの生産性につきましては伸ばしていきたいと考えています。

Asia Pacific SBU (P/L分析)

ファシリティマネジメント事業の成長に加え、為替影響もあり、増収増益

(Billion yen)

() は前年同期比



業績・KPI コメント Q4 (1-3月)

人材サービス

- 人材派遣は一部の国を除き、堅調に推移
- 人材紹介は引き続き低調。HC（コンサルタント数）は、採用数をコントロール

* 為替レート 【豪ドル】 FY2023 : 95.1円、FY2024 : 99.5円

ファシリティマネジメント

- 引き続き豪ドルベースで二桁成長
- FY2024末の契約残高は前期末と比較し、20%程度増加

最後のSBU、Asia Pacific SBU でございます。

冒頭説明いたしましたが、為替の影響が5%ありましたが、現地通貨ベースでも売上を約10%伸ばすことができている。Asia Pacific SBUのマーケットの状況でございますが、人材派遣につきましては、オーストラリアはやや低調であるものの、アジア圏は堅調な状況でございます。また人材紹介につきましては、アジアもオーストラリアもやや低調な状況でございまして、これにつきましては、コンサルタントの数を含めましてコストコントロールをしっかりとしていきたいと考えています。一方で、ファシリティマネジメントにつきましては引き続き好調でございまして、二桁成長を達成していますし、FY2023末対比でFY2024末の契約残高につきましては、20%程度増加しておりますので、好調な状況です。

事業トピックス : Asia Pacific SBU



First Nations Employment Indexに参加

- Programmedが、オーストラリア全土の先住民の雇用に関するレポートである「First Nations Employment Index 2025」に参加
- 当社の知見と経験を共有することで、先住民のはたらく選択肢の拡大に貢献することのできる、社会的意義の高い活動



Local Government Symposiumを開催

- サステナブルなメンテナンスとアセットマネジメントに沿った運営についての知識を共有するシンポジウムをProgrammedが主催
- 世界的に著名な教授らや、地方議会などの代表者らも参加



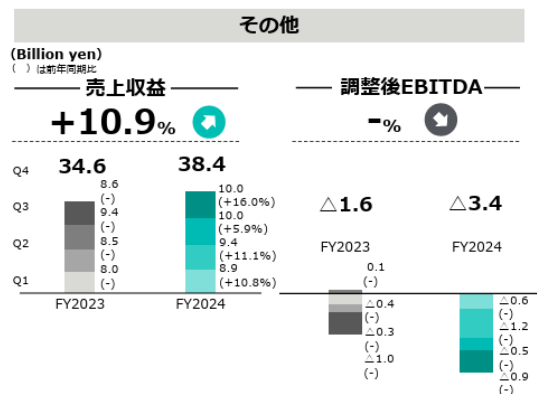
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

27

Asia Pacific SBU のトピックにつきましても、ぜひ後ほどご覧いただきたいと思います。

FY2023
プロフィールあり

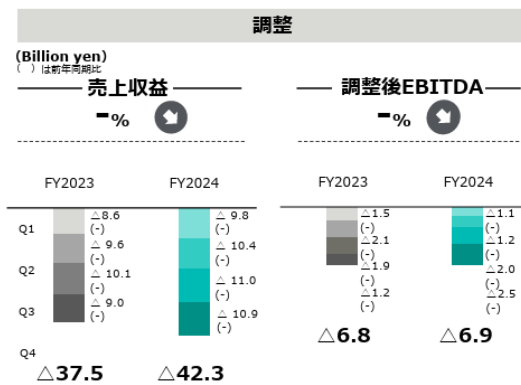
その他・調整 (P/L分析)



業績・コメント Q4 (1-3月)

- ・ 売上収益は、R&D Function Unitの各事業成長により増収
- ・ 調整後EBITDAは、R&D Function Unitの投資拡大により減益

* その他および調整の内容につきましては、決算短信のセグメント情報等に関する注記をご参照ください
* 本資料におけるSBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦システムでプロフォーム後の数値



業績・コメント Q4 (1-3月)

・ -

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

28

最後にその他・調整でございますが、その他につきましては調整後 EBITDA がマイナス 16 億円からマイナス 34 億円ということで、赤字幅が拡大しています。これはシェアフルの先行投資、具体的には、営業人員の強化とマーケティング投資によるものでございます。

連結調整につきましては FY2023、FY2024 で大きな差はございません。

事業トピックス：パーソル総合研究所



●調査・研究の発信

1/14	OJTに関する定量調査
1/23	スキマバイト/スポットワークに関する定量調査
1/30	はたらく人の休憩に関する定量調査
2/06	「正社員として20年以上勤務した60代」の就労実態調査
2/13	上司と部下の信頼関係に関する研究
2/27	1on1ミーティングに関する定量調査

●「調査研究要覧」の発刊



2025年3月17日 発刊

「調査研究要覧」2024年度版

詳細は[こちら](#)

2年目となる本企画は、2024年度に公開した調査・研究から、研究員それぞれが担当したイデオンの1本を取り上げ、調査の目的や結果を紹介しつつ、課題解決の糸口を探っていく。後半では、調査レポート・機関誌・特設サイト等、調査研究関連コンテンツを一覧化

●イベント“Think Forward”の開催



■Think Forward 2025 春

2/18リアルイベント／ご招待：114名

※研究員と企業の人事担当、また人事担当様同士をつなぐネットワーキング・セッションを開催

①学び合う組織づくり 超・実践の100のツボ

②新著紹介『ジョブ型人事の道しるべ』2/10発刊

③労働市場の未来推計2035

デジタル庁の村上敬寛統括官をお迎えし、「労働力不足」が進む日本の未来について、研究員とのパネルディスカッションを実施

■Think Forward 2025 春 UPDATES

2/27-28オンラインセミナー／申込：714名

※全研究員が登壇

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

30

パーソル総研のトピックスを記載していますが、後ほどぜひご覧いただきたいと思います。

以上、私の方から全社の決算概要、SBUの決算概要を説明いたしました。全体として堅調な決算だったと思っています。

私からは以上でございます。

FY2025 通期業績予想

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】

それでは続きまして私の方から、FY2025 の通期業績予想についてご説明させていただきます。

FY2025 通期業績予想概要（連結）



調整後EBITDAの二桁成長を目標とし、過去最高益の更新を見込む

(Billion yen)	FY2024 実績			FY2025 予想			YoY		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	717.5	733.6	1,451.2	757.0	783.0	1,540.0	+5.5%	+6.7%	+6.1%
営業利益 ^{*1}	32.1	25.3	57.4	34.3	31.7	66.0	+6.8%	+25.2%	+14.9%
営業利益率	4.5%	3.5%	4.0%	4.5%	4.0%	4.3%	+0.1pt	+0.6pt	+0.3pt
調整後EBITDA	42.7	35.5	78.3	43.0	43.5	86.5	+0.5%	+22.3%	+10.4%
調整後EBITDA Margin	6.0%	4.8%	5.4%	5.7%	5.6%	5.6%	△0.3pt	+0.7pt	+0.2pt
当期利益 ^{*1*2}	21.3	14.4	35.8	21.0	20.0	41.0	△1.8%	+38.0%	+14.3%
調整後当期利益	24.8	16.6	41.4	22.5	23.0	45.5	△9.3%	+38.4%	+9.8%
EPS (Yen) ^{*1}	9.56	6.61	16.17	9.41	8.96	18.37	△1.6%	+35.6%	+13.6%
調整後EPS (Yen)	10.99	7.51	18.50	10.08	10.30	20.39	△8.3%	+37.2%	+10.2%

^{*1} FY2025上期予想に一部事業の売却益（約25億円）を見込む（当売却益は営業利益・当期利益・EPSには含み、調整後EBITDA・調整後当期利益・調整後EPSには含まず。今後金額は変動の可能性あり）

^{*2} 親会社の所有者に帰属する当期利益

^{*3} 為替レート 【豪ドル】 FY2024実績：上期 101.3円、通期 99.5円 FY2025 予想：上期・通期 95.0円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

32

通期の売上収益は、6.1%増の1兆5,400億円を見込んでおります。営業利益は14.9%増の660億円、調整後EBITDAは10.4%増、二桁増の、865億円を見込んでおります。調整後EPSは10.2%増の20円39銭を見込んでおります。

SBU別業績予想



()	はYoY	FY2025		中長期		FY2025見直し
		売上収益 (billion yen)	調整後EBITDA (billion yen)	調整後EBITDA マージン	調整後EBITDA マージン目標	
連結		1,540.0 (+6.1%)	86.5 (+10.4%)	5.6% (+0.2pt)	-	-
Staffing ^{*1}		618.0 (+5.2%)	34.2 (+10.4%)	5.5% (+0.3pt)	FY27 6%	就業者数：YoY+3%、平均請求単価：YoY+2% 将来のコスト削減のためのシステム投資を継続、人件費を中心に販管費を適正化
BPO		147.0 (+25.4%)	10.0 (+50.0%)	6.8% (+1.1pt)	FY28 8%	オーガニック売上成長 ^{*2} は約10%の計画 増収効果と販管費のコントロールでマージン改善
Technology		129.0 (+12.5%)	10.0 (+15.7%)	7.8% (+0.2pt)	FY28 10%	FY25末のエンジニア数 ^{*3} （FY24末対比）：+12% 採用数 ^{*3} ：YoY+9%、退職率 ^{*3} ：8%
Career		155.0 (+7.2%)	34.1 (+12.3%)	22.0% (+1.0pt)	20%水準 維持	人材紹介：YoY+5.4%、求人メディア：YoY+7.9% コンサルタントの生産性は引き続き改善
Asia Pacific		482.0 (+1.2%)	11.0 (△6.0%)	2.3% (△0.2pt)	-	為替影響を除く売上成長は+5.1% システム刷新費用（約20億円）なかりせば調整後EBITDAマージンは2.7%
その他 ^{*1}		59.0 (+10.4%)	△1.8 -	-	-	事業拡大に伴い、前期から調整後EBITDAは12億円赤字改善
調整		△50.0	△11.0	-	-	-

^{*1} 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管。FY2025 Q1決算よりFY2024数値は遡及して開示予定のため、FY2025の数値予想およびYoYは当該移管を加味した数値を記載
^{*2} COVID-19関連案件および2025年2月に実施した企業統合におけるパーソルコミュニケーションサービス分の売上収益を除く成長率
^{*3} 登録型派遣・フリーランスを除く

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

33

SBU 別の予想でございます。

今回から、各 SBU の今年度の取り組みに関する因数分解をさせていただいており、こういった形で FY2025 の成長を実現するのか、記載させていただいております。

特に、この中でも注目いただきたいのが、Staffing SBU、BPO SBU、Technology SBU は、FY2027 および FY2028 に向けて収益改善の取り組みを積極的に進めていくという点です。Staffing SBU は、FY2027 に 6%、BPO SBU は FY2028 に 8%、それから Technology SBU は FY2028 に 10%の調整後 EBITDA マージンを目標として取り組んでおります。

Career SBU 事業の見通し



	マーケット環境の見立て	当社のアクション
短期	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポリウム層^{*1}の現在の動向は継続 <ul style="list-style-type: none"> - 法人需要は、労働力不足を背景に旺盛も、厳選採用の傾向 - 転職希望者の動きは賃上げを含む現職企業のリテンション強化などにより慎重 ・ ハイクラス層^{*1}は高成長を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・ FY2026以降の売上二桁成長を目指し、転職希望者の第一想起獲得のためのマーケティング投資強化を継続 ・ ハイクラス層^{*1}は引き続き強化
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高い市場成長ポテンシャル <ul style="list-style-type: none"> - 多くの潜在転職者^{*2}の存在 - 雇用の流動化が進み、転職希望者数と求人数がともに増加 ・ ポリウム層^{*1}の慎重な動向は数年で一巡し、再び活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テクノロジー投資強化により効率化を実現し、人の介在価値をさらに高め、顧客体験を向上 <ul style="list-style-type: none"> - 採用企業：採用プロセスの省力化 - 転職希望者：応募プロセスの効率化 - マッチング：飛躍的な質とスピードの向上

^{*1} ポリウム層：年収帯が400～600万円の転職希望者、ハイクラス層：年収帯が600万円以上の転職希望者
^{*2} 転職希望者数1,000万人と求職希望者数300万人のギャップ700万人を潜在転職者と定義。出所：総務省 労働力調査2024年

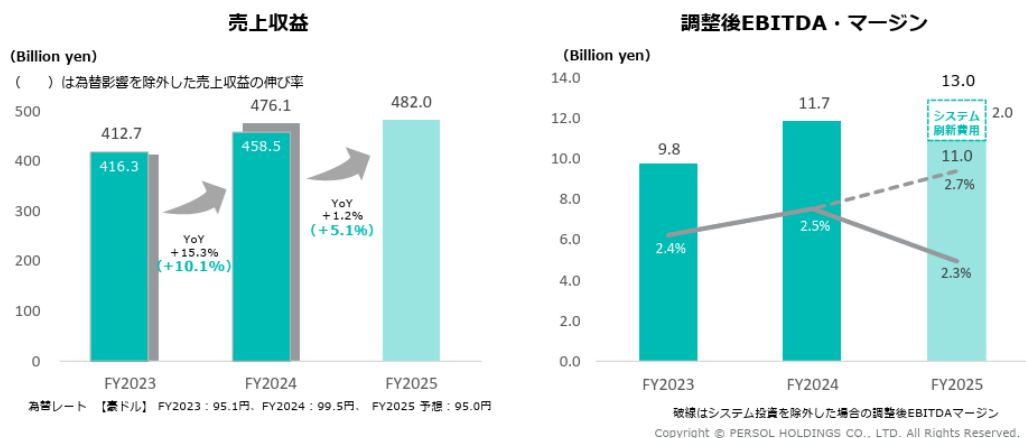
Career SBU における事業の見通しを少しご説明させていただきます。

FY2025 は、個人の転職意向は一定慎重姿勢であり、様子見の状態が継続すると認識をしております。この動きはFY2024 下期から継続しており、特に、賃金の上昇や待遇改善、企業各社の社員様のリテンション策が功を奏していることが背景にあるとの認識です。ただし、長期的に見ますと、転職希望者は日本全国で 1,000 万人を超えている中で、実際に転職されている方の数が 300 万人に過ぎず、この 300 万人の方の転職もそうですし、残りの 700 万人の方の転職も、今後一定期間が経過するとともに一層活性化していきだろうと認識をしております。そういった意味も込めまして、FY2025 においては約 7%の水準での成長を見込んでおりますが、FY2026 には再度二桁の成長を目指すということでございます。FY2026 の二桁成長を実現させていくためにも、転職希望者の方々の意識の中に、パーソルグループの doda が第一想起される必要があると考えておりますので、引き続きマーケティング投資は適切に、かつ積極的に進めてまいりたいと考えています。加えて、この一年間でテクノロジー投資をより加速させ、人の介在価値をより一層感じていただけるような顧客体験を向上させる取り組みを進めてまいりたいと思っております。もちろん DX や AI の活用というのは当然でございますし、業務の全体のプロセス見直し含め、様々な形で Career SBU の価値を上げてまいりたいと考えております。

Asia Pacific SBU 業績推移



為替影響を除いた売上収益は安定的に成長
システム刷新（主にファシリティマネジメント領域）による費用を見込む



35

それからもう 1 点皆様にお伝えしておきたいのは、Asia Pacific SBU の取り組みでございます。

先ほどご説明した通り、Asia Pacific SBU も二桁成長を実現しておりますし、調整後 EBITDA マージンも 0.1pt ずつ改善しておりますが、FY2025 におきましては、システム投資を計画しております。特に、非常に好調でかつ収益力を持っているファシリティマネジメントビジネスのシステムを強化する必要があると判断をしております。ファシリティマネジメントのシステム投資を中心に、Asia Pacific SBU 全体で今年度、来年度の 2 年間にかけて、それぞれ 20 億円ずつ投資をしていきたいと思っております。それによって、Asia Pacific SBU において、より大型の案件や、受託案件の獲得可能性を高め、運用の実績をより高めるといった取り組みを進めていきたいと考えております。

FY2025 業績予想 SBU別 売上収益



(Billion yen)	FY2024 実績			FY2025 予想			YoY		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	717.5	733.6	1,451.2	757.0	783.0	1,540.0	+5.5%	+6.7%	+6.1%
Staffing ^{*1}	292.5	294.8	587.3	307.0	311.0	618.0	+4.9%	+5.5%	+5.2%
BPO	54.5	62.6	117.2	70.0	77.0	147.0	+28.2%	+22.9%	+25.4%
Technology	54.7	59.9	114.7	62.0	67.0	129.0	+13.3%	+11.7%	+12.5%
Career	72.8	71.7	144.6	78.0	77.0	155.0	+7.0%	+7.3%	+7.2%
Asia Pacific ^{*2}	237.3	238.7	476.1	236.0	246.0	482.0	△0.6%	+3.0%	+1.2%
その他 ^{*1}	25.7	27.7	53.4	28.0	31.0	59.0	+8.8%	+11.8%	+10.4%
調整	△20.3	△21.9	△42.3	△24.0	△26.0	△50.0	—	—	—

^{*1} 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管。FY2025 Q1決算よりFY2024数値は遡及して開示予定のため、FY2024実績・FY2025予想・YoYは当該移管を加味した数値を記載（未監査）

^{*2} 為替レート 【豪ドル】 FY2024実績：上期 101.3円、通期 99.5円 FY2025 予想：上期・通期 95.0円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

36

FY2025 業績予想 SBU別 調整後EBITDA、調整後EBITDA Margin



(Billion yen)	FY2024 実績			FY2025 予想			YoY		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	42.7	35.5	78.3	43.0	43.5	86.5	+0.5%	+22.3%	+10.4%
	6.0%	4.8%	5.4%	5.7%	5.6%	5.6%	△0.3pt	+0.7pt	+0.2pt
Staffing ^{*1}	16.9	14.0	30.9	17.9	16.3	34.2	+5.5%	+16.3%	+10.4%
	5.8%	4.8%	5.3%	5.8%	5.2%	5.5%	+0.0pt	+0.5pt	+0.3pt
BPO	2.4	4.2	6.6	3.5	6.5	10.0	+44.5%	+53.1%	+50.0%
	4.4%	6.8%	5.7%	5.0%	8.4%	6.8%	+0.6pt	+1.7pt	+1.1pt
Technology	3.4	5.1	8.6	4.2	5.8	10.0	+20.5%	+12.5%	+15.7%
	6.4%	8.6%	7.5%	6.8%	8.7%	7.8%	+0.4pt	+0.1pt	+0.2pt
Career	16.8	13.5	30.3	17.7	16.4	34.1	+5.3%	+20.9%	+12.3%
	23.1%	18.9%	21.0%	22.7%	21.3%	22.0%	△0.4pt	+2.4pt	+1.0pt
Asia Pacific ^{*2}	7.0	4.6	11.7	5.5	5.5	11.0	△22.3%	+18.8%	△6.0%
	3.0%	1.9%	2.5%	2.3%	2.2%	2.3%	△0.7pt	+0.3pt	△0.2pt
その他 ^{*1}	△1.6	△1.4	△3.0	△1.6	△0.2	△1.8	—	—	—
調整	△2.3	△4.5	△6.9	△4.2	△6.8	△11.0	—	—	—

^{*1} 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管。FY2025 Q1決算よりFY2024数値は遡及して開示予定のため、FY2024実績・FY2025予想・YoYは当該移管を加味した数値を記載（未監査）

^{*2} 為替レート 【豪ドル】 FY2024実績：上期 101.3円、通期 99.5円 FY2025 予想：上期・通期 95.0円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

37

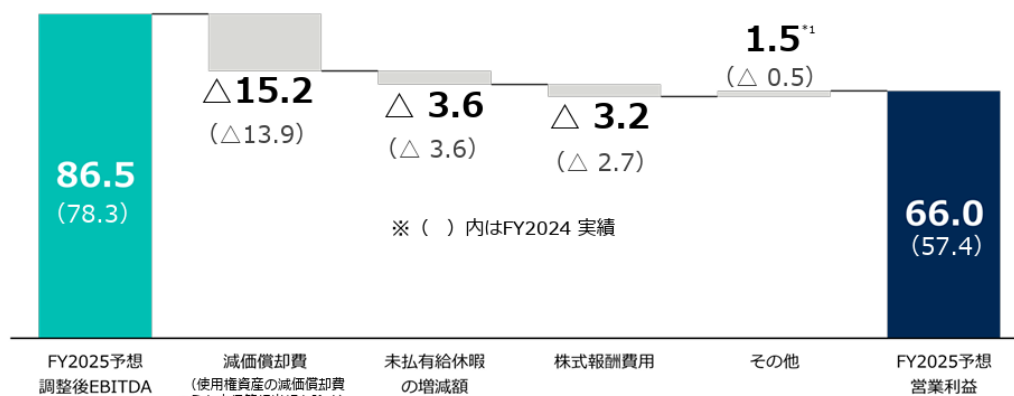
以上を踏まえまして、FY2025 の通期業績予想を、SBU 別で記載させていただいております。

37 ページには SBU ごとの調整後 EBITDA を記載させていただいております。特に、このページでお伝えしたいのは、Staffing SBU、Career SBU でそれぞれ 340 億円強の調整後 EBITDA を獲得することと共に、BPO SBU、Technology SBU、Asia Pacific SBU が、各々 100 億円強の調整後 EBITDA を確保することです。我々の事業ポートフォリオがしっかり出来上がっているということを改めてご認識いただければ幸いです。

FY2025 調整後EBITDAと営業利益



(Billion yen)



^{*1} FY2025上期予想に一部事業の売却益 (約25億円、今後増減の上変動は変動の可能性あり) を見込む
^{*2} 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (使用権資産の減価償却費のうち家賃等相当額を除く) + (-) 未払有給休暇の増減 (減額) + 株式報酬費用 - (+) その他の収益 (費用) - (+) その他通常のでない収益 (損失)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

39

調整後 EBITDA と営業利益のブリッジでございます。

先ほどご説明差し上げた、FY2024 実績のブリッジとほぼ構図は変わっておりません。調整後 EBITDA が 865 億円から営業利益 660 億円への道筋を見てとっていただけるのではないかと考えております。

財務戦略 (株主還元・ キャッシュアロケーション)

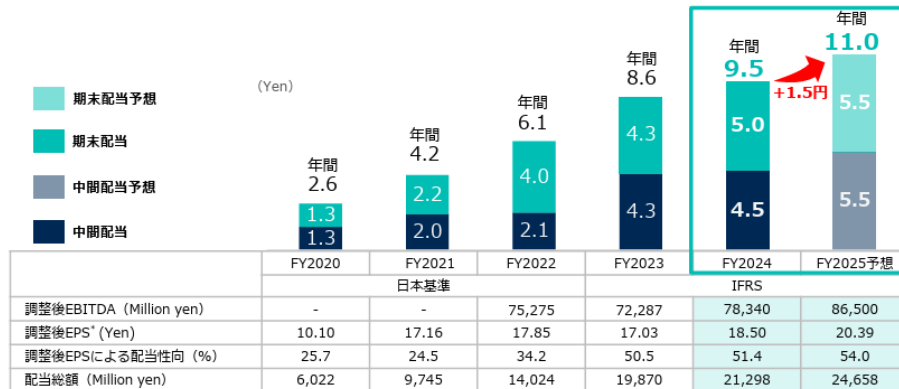
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

次に、株主還元・キャッシュアロケーションに関するご説明をしてみたいと思います。

配当金の推移と予想



FY2024の期末配当は期初予想から0.5円増配の5.0円となり、年間配当は9.5円
FY2025の年間配当予想は前年比1.5円増額し、過去最高額の11.0円



* 2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行ったため、一株当たり配当金額および調整後EPSは、適年度分も含め、当該株式分割が行われたと仮定して換算

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

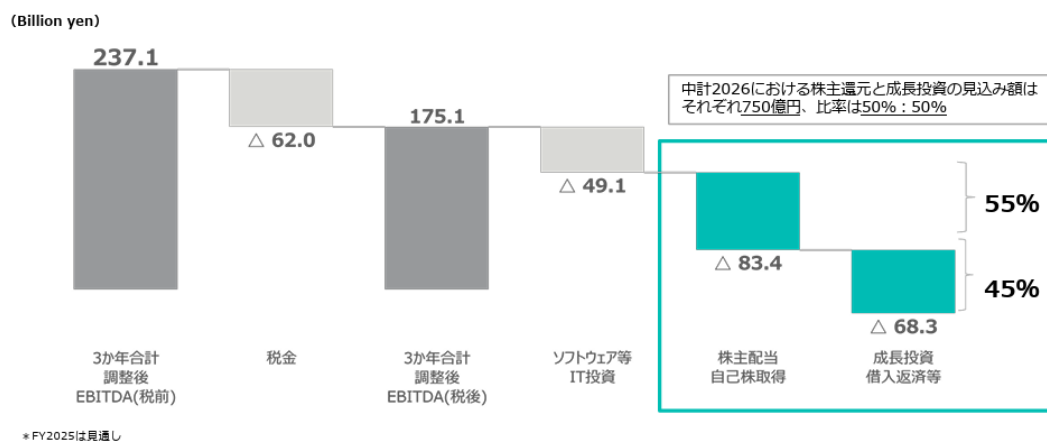
FY2024 の配当と FY2025 の配当予想でございます。

FY2024 は、期初予想比 0.5 円の増配で年間配当は 9.5 円とさせていただきます。FY2025 は、FY2024 に比して 1.5 円増配の、年間配当 11 円を見込んでおります。堅調に推移しており、還元もしっかりとさせていただきたいと考えております。

キャッシュアロケーション (FY2023～FY2025*の3か年)



将来への成長投資と株主還元とのバランスをはかり
キャッシュアロケーションはほぼ計画通り



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

42

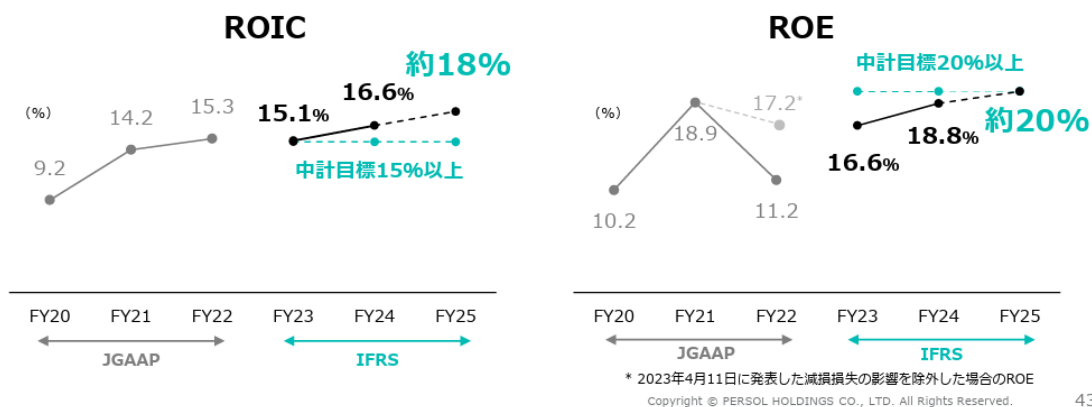
次に、キャッシュアロケーションについてです。

これは中期経営計画 2026 を発表した際の計画と、FY2025 の中期経営計画最終年度の着地点の比較ですが、ほぼ計画通りでございます。当初の計画でございますと、株主配当および自己株取得の額と、成長投資及び借入返済額をほぼ半分半分、750 億円ずつと計画しておりましたが、実際には株主配当および自己株取得が 834 億円、成長投資および借入金返済が 683 億円という形で、比率は若干配当の方に傾いておりますが、こういった形で今期着地できる見込みでございます。

ROICおよびROEの中計2026目標とFY2025見通し



資本効率の改善と利益成長の実現により過去最高値を更新見通し
中計2026目標に対しROIC・ROEいずれも達成見込み



43

次に、ROICとROEの推移でございます。

ROICに関しましては、今年度の着地予想で約18%、それからROEに関しては中計目標で掲げておりました20%以上という水準に対し、ちょうど20%にフィットできるのではないかと見立てております。

Group Topics

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

それでは、最後にグループのトピックスについてお伝えしたいと思います。

デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX銘柄）の 「DX注目企業2025」に選定



DX注目企業2025 Digital Transformation

- 経済産業省、東京証券取引所および独立行政法人情報処理推進機構が、東京証券取引所に上場している企業の中から、企業価値の向上につながるDXを推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績が表れている企業を選定
- パーソルは、経営ビジョンにおけるデジタル活用ストーリーが明確であること、デジタル人材の育成において個人の成長や市場価値を意識した報酬制度を採用していること、人材派遣事業のDXが着実に成果を出し事業への生成AIの活用・定着を志向していることが評価された

詳しくは[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

45

我々はテクノロジーの活用や DX の推進に取り組んでおりますが、記載のような取り組みをご評価いただき、経産省ならびに東証から DX 注目企業 2025 に選定をいただきました。DX 銘柄の中の 1 つだと認識いただければと思います。

IR DAY 2025 開催のお知らせ



PERSOL IR DAY 2025を開催いたします

時 期：7月22日（火）

テーマ：PERSOL Technology Overview
～AI・DXを軸としたグループの取り組みと今後の方向性～

登壇者：執行役員 CIO/CDO 柘植 悠太

開催方法：Web（日英同時配信）

対象者：機関投資家・アナリスト向け（後日当社Webサイトにて開示予定）

我々の取り組みに関しまして、別途 IR Day を開催したいと思っております。7 月 22 日に計画をしております、パーソルグループの AI 活用や、DX の推進、それから今後の方向性に関しまして皆様にご理解をいただきたいと思っております。Web で開催をいたしますので、機関投資家の皆様やアナリストの皆様方に、ぜひお時間がございましたらご参加いただければと思っております。

私の方からは以上でございます。

（終）